

2022.04.22. 私たちはなぜえこひいきするのか？

ヤコブの手紙 2 章 1～9 節

JD ファラグ牧師

おはようございます。ようこそ。ご参集下さり、とてもうれしいです。オンラインで参加の方も歓迎します。今日、主が私たちに示してくださるものがとても楽しみです。2週間前に、ヤコブの手紙 1 章を終えました。私たちは聖書を節ごとに学んでいますが、今日の箇所は「ヤコブの手紙 2 章 1 節から 9 節」です。この場にいらっしゃる方で、可能な方はお立ち下さい。ご無理な方は、座ったままで結構です。私が読みますので、ついてきてください。ヤコブが聖霊によって、1 節からこう書いています。

## ヤコブ 2

1 私の兄弟たち。あなたがたは、私たちの主、栄光のイエス・キリストへの信仰を持っていながら、人をえこひいきすることがあってはなりません。

2 あなたがたの集會に、金の指輪をはめた立派な身なりの人が入って来て、また、みすぼらしい身なりの貧しい人も入って来たとして。

3 あなたがたは、立派な身なりをした人に目を留めて、「あなたはこちらの良い席にお座りください」と言い、貧しい人には、「あなたは立っていないさい。でなければ、そこに、私の足もとに座りなさい」と言うなら、

4 自分たちの間で差別をし、悪い考えでさばく者となったのではありませんか。

5 私の愛する兄弟たち、よく聞きなさい。神は、この世の貧しい人たちを選んで信仰に富む者とし、神を愛する者に約束された御國を受け継ぐ者とされたではありませんか。

6 それなのに、あなたがたは貧しい人を辱めたのです。あなたがたを虐げるのは富んでいる人たちではありませんか。また、あなたがたを裁判所に引いて行くのも彼らではありませんか。

7 あなたがたがその名で呼ばれている尊い御名を汚すのも、彼らではありませんか。

8 もし本当に、あなたがたが聖書にしたがって、「あなたの隣人を自分自身のように愛しなさい」という最高の律法を守るなら、あなたがたの行いは立派です。

9 しかし、もし人をえこひいきするなら、あなたがたは罪を犯しており、律法によって違反者として責められます。

御心なら来週、10 節からさらに説明します。では祈りましょう。御言葉の中で私たちが共に過ごす時間を祝福下さるよう神にお願いしましょう。

天のお父様。本当にありがとうございます。主よ、今日私たちの前にあるあなたのこの御言葉に、心から感謝します。私たちは、これを聞く必要があります。私たちは聞きたくないかもしれませんが、理由があって聖書に記されています。すべての聖句が神の息吹であり、時に私たちに励まし、教え、戒め、でも時には叱責や矯正で、今日の箇所はそういう事例です。ですから、主よ、私たちは、膝まづきあなたの御前にへりくだります。あなたは私たちを導き、必要なこの問題に関して、非難ではなく、聖霊によって罪を示して下さい。主よ、それをお願いします。イエスの御名によって。アーメン、アーメン。ご着席ください。ありがとうございます。今日、お話ししたいのは、

「なぜ私たちはすぐに、人をえこひいき差別してしまうのか」そして、もっと重要なことは、神の御言葉を行う者として、それに対して何ができるのか。それが、ヤコブが書いているこの箇所の文脈です。そして再度、この私たちの前にある箇所でヤコブを、、皆さんも、私のように彼についてこのことを本当に感

謝するのをお願いします。つまりヤコブは、ストレートに、躊躇無く、正面から、ありのままを伝えます。彼は、言葉を和らげたり、口当たり良くしたりしません。そうではなく、彼はただボコボコにする！そんな感じです。

「そんなことをしたら、罪を犯していることになるじゃないか！どうするんだ！」

おお、わお～ヤコブ。「ダメ。これは重大な問題なので、それくらい強くせねばならないんだ。」それが起こっています。彼らはそういうことをしたのです。彼らは差別をし、えこひいきをし、偏愛しました。今からそれを話していきます。教会に入ってきた2人の男について、実にうまく例示しています。さて、本文中に、私たちはなぜそうするのかについて、3つ以上の理由が示されています。私たちはしてしまいます。正直にならないといけませんね。それだけでなく、これが私たちのお決まりで、私たちはそうやってしまうのです。私たちは、人に好意を示しますが、偏っていて、私たちは人をえこひいきします。ありがたいことに、私はヤコブのここが好きなのですが、神の御言葉全体として、私たちに何ができるかを教えてくれています。私たちが、聖なる御言葉を行えるよう励まして下さる聖霊のご方法なのです。その3つの理由を示してくださいませ。では、見ていきましょう。準備はいいですか？ 本当に...？最初の理由は、1から4節にあります。

「私たちは、人を外見で判断する。」

これについては、実際に研究されているのをご存知ですか？ある人に正装させます。ほ～！なんと、スーツにネクタイ。億万長者のように見えるのです。ある人間が言ったように、緑一色でシワシワ。いやいやそうではなく、正装し、スーツを着て、それらしく見えるようにします。「ほ～お客様、何かお探しですか？」同じ男が、同じ日、同じ人のところにジーンズにTシャツで行きます。同じ男ですよ。ジーンズにTシャツを着ています。「誰か、その辺で対応しといてくれよ。」誰も彼に時間を割きません。なぜか？「だって、あの人を見てよ。」実話を話します。以前にも紹介しましたが、ここに当てはまると思います。本土でのことで、キャデラックの販売店に、まだTシャツに穴のあいたジーンズが流行る前若い男がその恰好で入って来ました。その辺は勘弁してくださいよ。私はただ思ってしまいます。「うわ～、その穴のためにお金を払ったの？」—(笑)— 私が若いころは...皆さんも同じ事をするでしょ？ 私たちはそういうものにお金を使いました。穴があいたら捨てるものを、買いに行くのです。とにかく、もう十分です。この若者は、キャデラックの販売店に入りました。彼はTシャツと穴のあいたジーンズの恰好で、ショールームにいて、誰も彼に見向きもしませんでした。実際、彼らはこんな風に見ています。

「何のためにここにいるんだ。求職活動か？」「このショールームの車を買うお金なんて、あるはずがない。」そしてついに、新人営業マンの一人が彼に近づき言います。「何かお探しですか？」彼は「はい、そうなんです。」と答え、彼は、ポケットから、特注のキャデラック・リムジンのリストを取り出しました。父親が買いに行かせたのです。お～その販売手数料いただきたかったですね。外見で判断するんです。私が毎日スーツを着ていたビジネス時代、服装や外見で人がどう接するか、とても興味深かったのを覚えています。乗っている車で判断するのはどうでしょう？ その話はするべきじゃありませんでしたが、いい車を持っていてもいいんです。物があっていいんです。ただ、そういう物に自分が捕らわれてはいけません。ヤコブはここで、この例を引き合いに出していますが、これは当時の、偏見や差別、えこひいきに関して起こっていたことだと考える人もいます。牧師として、これはとても興味深い例で、私は感謝しますが、もしこの教会に、華やかな着飾った人が入ってきたら？ 正直に言うと、ホームレスのような人、たぶんそうでしょうがそういうが入ってくるのとは私たちは、違う目で見ることになるのではない

でしょうか？「お～こちらへ来てお座りください。」「君は向こうへ移動しなさい。君は後ろへ移動しなさい。こっちに来て私の汚い足のそばに座りなさい。なぜここにいるんだ？ この人のために場所を空けなさい。」この人は重要な人物で、お金持ちだから。それが私たちのしている事です。なぜ、彼らはそうしてしまったのか？ 外見を見ているからです。外見を見て、その人がどう見えるかだけで評価し判断しているからです。これは、内面ではなく外面を見て、その人の心を見ずして判断する典型的な事例です。「第一サムエル記 16 章」の記述、6-7 節ですが、先にその背景を説明します。サウルは、不従順と反抗で王国から退けられました。神はサムエルに、サウルの後を継ぐイスラエルの王に油を注ぐように命じ、エッサイの家に油を注ぎに行くよう命じられます。エッサイには 8 人の息子がいました。サムエルは主に従い、王国から退けられたサウルの後継者、次のイスラエルの王に油を注ぐために出発します。彼が到着すると、父エッサイが待っており、彼の息子たち（1 人を除いた 7 人）がそこにいました。当時の習慣で、現在でも同じように、長男が先頭です。実際、父親の名前は、長男に受け継がれます。中東では、自分が牧師の肩書きで呼ばれるよりも、長男の名前で呼ばれる方が名誉なのです。アブ・エリアブ＝エリアブ（長男）の父。そう呼ばれるのが名誉なことで、その文化圏では長男をそう見なしました。もちろん、エッサイの 8 人の息子のうち 7 人が並んでいて、長男のエリアブがいます。サムエルは思いました。「ほ～、この人物だ！」

#### 第一サムエル記 16

6 彼らが来たとき、サムエルはエリアブ（長男）を見て、「きっと、【主】の前にいるこの者が、主に油を注がれる者だ」と思った。

7 しかし、【主】はサムエルに言われた。「彼の容貌や背の高さを見てはならない。わたしは彼を退けている。（その理由は）人が見るようには見ないからだ。人はうわべを見るが、【主】は心を見る。」

もう 1 つ、今思いつきました。とても興味深いです。実は、人の背丈に関する研究もされています。身長です。ちなみに、オンラインでご覧の皆さん、私は....注意して言わないと...OK、これはどうでしょう？ 私は身長 6 フィート（183 センチ）で、縮みつつあります。－(笑)－いえ、皆さんに言われるのです。

「思っていたよりずっと背が高いのですね。」それは、この説教壇、、30 センチほど切りたいですね。カメラ角度を工夫するよう裏方スタッフが頑張ってくれています。つまり...とにかく、身長に関する研究が行われていて、背の高い人の方が良い扱いを受けるのを知っていますか？ そんな風に反応下さりありがとうございます。だって、私は身長 6 フィート（183 センチ）もあるんだから、もっと良い扱いをしてくださいよ。－(笑)－ 神がサムエルに確認されるなんて、おもしろいと思いませんか？ なぜなら、実際、聖書の中に、エリアブが他の誰よりも背が高かったという詳細が記されているからです。ジムで鍛えていたのだろうと想像します。私が言いたいのは、彼は筋肉隆々で、大きく、体格がよくて、背が高く、たぶんハンサムだったでしょう。サムエルが、「ああ、この人物に違いない。」と思ったほどです。主は仰います。「サムエル、何やってるのだ？」「明らかにこの人物が後継者でしょう？ 彼を見てください。」「違う。外見を見てはいけない。」「あなたは、彼の背の高さ、ハンサムさ、体格、筋肉を見て、外見で判断している。それが問題なのだ、サムエル。わたしは彼の心を見ている。理由があって、彼を退ける。」この「サムエル記」は、聖書の中で最も魅力的な記述の 1 つです。私は、聖書すべての記述についてそう言っているのは分かっていますが、ここで、ダビデがその候補にも入っていないことに、とても魅力を感じます。彼らがどれほど驚いたか、想像してみてください。つまり、サムエルだけでなく、エリアブは、どんな気持ちだったと思いますか？ エリアブは、「わざわざこんな形式的なことをする必要はあるの？ 明らかに私

だと分かっているのに。弟たちよ、なぜお前たちがここにいるのかさえ分からない。何でもいいけど。」

—(笑)—「サムエルよ、さあ、私に油を注いでくれ。」(待ち構える) あなたではありません。

ところで、ダビデが父エッサイに言われ、兄たちの様子を見に戦場に行った時、兄弟3人が戦場において、その時、無割礼のペリシテ人が四十日四十夜に渡り神の名を冒瀆していました。イスラエル軍全体が恐怖で麻痺している中、ダビデは様子を見に行き、知らせを持ち帰るため、陣営に入ります。彼は戦場に姿を現し、ダビデが最初に会った人物は、長男のエリアブです。兄エリアブは、ダビデに何と言ったでしょうか？

「なぜやって来たのか？ ここは男の戦場だぞ。家に戻って羊の世話をしろ。自分を何様だと思ってるんだ？ ここは本当の男がいる場所だ。」

ダビデは「失礼ですが、兄よ。」みたいな感じです。すみません。—(笑)—

どうしてなのでしょうね。聖句を読む時、そこに自分を置いてしまうのです。本当に起こったことだから。現場において、兄たちの反応を見たかったですね。そして、エリアブの様子が、彼は明らかに年少の弟に対して辛辣です。皆さん、このことは、すべてに反していることを知らなければなりません。ダビデは最年少で、、最年長ではありません。そのため、兄たちに、特にエリアブにはダビデに対する反感と憎悪と恨みがありました。そこでダビデが言います。「兄さんは、あいつが言ったことを聞きました？」

「ああ、彼は四十日四十晩、叫び続けているんだ。毎日毎晩四六時中。」「兄さんは、それでいいのですか？」「私がやります。これは許せない！」そして、イスラエルの王としての後継者ダビデをサウルのところに連れて行き、ダビデはサウルを説得して、無割礼のペリシテ人を殺す許可を得、それを実行します。「サムエル、彼(ダビデ)はわたしの心に適う心を持っているので、あなたが油を注ぐべき人物です。そう、外見的にはただの子どもです。しかし、内面は神の人です。あなたは彼の若さを見ている。人はうわべを見るが、わたしは心を見る。彼にはその心がある。」神の心に適う男や女であることの意味を知っていますか？ それは、神の事に対する心を持っていて、あなたの心がそれらを追い求め、願望し、行うことを意味します。あなたは神を求める心があり、神ご自身に適う心がある。そして神は、この青年ダビデの心を見ておられました。「彼が王です。彼に油を注ぎなさい。」しかも、彼は候補にも入っておらず、物語の細部における緊迫感は圧巻です。サムエルを想像できますか？ 彼は、その.....完全にぶっ飛びます。7人の息子を全部見て彼はエッサイに言います。「私はこのことで主の声を聞きました。私はここに来て、あなたの息子の1人に、次のイスラエルの王として油を注ぐことになっていたのです。主は、この者たちの中に、王を選んでおられません。もう一人息子は？ それとももっと他にいますか？なぜなら、この中にはいないからです。」で、父エッサイは、「はい、しかし.....いますけど...でも...」このまんまですよ。原文にそのように記されています。そんな感じです。—(笑)— 申し訳ありません。またしても、入り込んでしまっています。エッサイの驚く表情が、目に浮かぶようです。父エッサイは、ダビデが候補者になるとは思ってもみなかったのです。つまり...「その子はどこにいますか？」「彼は野に出て、(興味深いことに)羊の世話をしています。」羊飼いの心。ふむ...ここに詳細があり、その語りがとても興味深いです。「人を遣わして、連れて来なさい。今すぐ！ 座ってはいけない！ 誰も座ってはいけない！ 何もしてはいけない。誰も食べてはいけない。水を飲んでもいけない。何もしてはいけない。今すぐ、ここに連れて来なさい！」(第一サムエル 16:11 参照)

で、彼らはそうします。ダビデの登場です。彼の表情を想像してみてください。繰り返しますが、私はそこにいて見えています。ダビデが来て...「何です？私何かしました？」みんなに対して身構えます。エリ

アブがどんな目で彼を見たか想像できますか？「お前なんかではない。」いいえ。そうなのです。ー(笑)ー 聖書の詳細では、彼は血色が良く、ハンサムで、、、臭かった。本文にはないですが、羊は臭いですからね。すみません、でもそうなんです。やってきたダビデは、羊の臭いがぶんぶんしています。羊のおしっこが全身に染み付いています。サムエルは「彼だ」と言います。きっとダビデはこうですよ。

「私？私に言ってるの??? 私？まさか！」そのまさかです。なぜか？「神はあなたの心を見ておられるからです。」人間は外見を見ます。願わくば、私たちが気をつけて、外見、服装、運転する車など、外見で判断することがありませんように。その人の心の中がどうなのか、あなたには分かりません。「箴言 24 章 23 節」にこうあります。「これらも、知恵のある者たちによる。さばくときに、人を偏り見るのは良くない。」「使徒の働き 10 章 34 節」この節の最初の部分が好きです。私はペテロが好きだから。

「そこで、ペテロは口を開いてこう言った。」と書いてあります。皆さんこの箇所、おっとと思うでしょうが、これが良いのですよ。「これで私は、はっきり分かりました。神はえこひいきをする方ではなく、」ところで、嬉しくないですか？使徒パウロがコリント人に書いた、

**「神は、知恵ある者を恥じ入らせるために、この世の愚かな者を選び」(I コリ 1:27)**

を思い起こします。彼はまたもや真正面からぶつけます。彼の名誉のため、聖霊によってです。

**「あなた方の中には、身分の高い者も多くはありません。」(I コリ 1:26)**と述べています。

良い血筋から生まれたなら、その血統、家系、家系図を誇りますよね。違う。あなたは負け組です。しかし、神は強い者を辱めるために弱い者を選び、用いられます。福音書の中で、イエスはいつも最も小さい者、最後の者に惹かれるのを知っていますね。福音書の中にあるように、イエスはいつもそういう人たちに心を留めておられるのです。他の人たちとは逆なんですよ。救い主の口から出た最も厳しい言葉は、宗教指導者、貴族、裕福な人たちに対してでした。ふむ。神が、えこひいきや偏見や差別をされないのは嬉しくありませんか？もしなさるのだったら、さようなら～ 私はここにいないでしょうね。

2つ目の理由は何でしょうか？ 5-7 節にあります。これは..... これについては、変に嫌味だと思えます。「私たちは金持ちの好意を求める。」ヤコブがここで言っていることは非常に興味深く、これにはいくつかの理由がありますが、その中でも特に、私たちは逆に捉えます。その理由は、私たちが好意を寄せる金持ちは、正に私たちから搾取し、イエスの名を冒瀆し、私たちを裁判所に訴える者たちである。もしこれで十分悪くないなら、今述べたように、神は実際に、世の中の貧しい者、愚かな者、弱い者、最も小さい者、最後の者を選んで、その信仰を豊かにされます。これは、非常に探求的で、罪を示されますが、私たちがひいき目で見ているからでは？彼らには、私たちに見返りする手段があるからです。私たちは、見返りしてもらえ、富んだ人たちの機嫌を取ろうとします。私たちは、ヤコブが記した、真の信仰、純粋で、汚れのない信仰心がどのようなものかについて話しましたね。つまり、あなたは自分が宗教心に熱いと思っていますが、そうではない。真の、穢れのない、純粋な信仰とは何か、教えましょう。孤児ややもめのように、何の見返りもできない人たちを思いやることです。どうでしょうか？

「そこにわたしは目を留め、わたしは受け入れます。信仰を語りたいのなら、そのようなものが、わたしが受け入れられる信仰です。恩返しできない人のために、何かをしてあげることです。」そして、ここに来て...今日、どなたもスーツを着用しベントレーでやって来て、正面に座らなかつたことに感謝します。それって本当に私を混乱させるでしょう。それでは..... (笑)、私の世界へようこそ。そんなことがあったということにしてみましょ。そうでなくて良かったですが、そうだったということにしておきましょう。さあ、皆さん。この前は、すでに他の人が彼に話しかけていたので、チャンスはなかつたのですが、

礼拝の後、その方に、行列ができますよ。「ほ～お名前は？」「ようこそ！」（満面の笑み）頼みますよ。そんな目で私を見ないでくださいよ～！！皆さんだって彼を、そういう目で見ますって。なぜか？ だって、この人……。そういう人と知り合いになりたい。そういう人と知り合うのは良いことだから。高い地位の人たちと知り合うのは。え、そうなの？ そうなりたいのですか？ 訴えて裁判を起こすのはそういう人ですよ。また、イエスの御名を空しくするような人たちです。「聖書預言・アップデート」でお話ししましたが、これは重要な原則なので、シェアしたいと思います。真実だからです。この点については、皆さんも私と同じだと思います。誰かがイエスの名をむやみに口にしたとき、それってあなたはムカつきますか？ なぜ彼らは、そんなことをするのでしょうか？ イエスは神だからです。皆さんは今までに、、、私は実際この質問を人にしたことがあります。若い頃はエネルギーがあったので、もっと好戦的なことをしました。しかし、年をとると、霊的なものが強くなるのではなく、エネルギーがなくなるのです。でも本当に気になるので尋ねます。「失礼ですが、あなたはなぜ、モハメッドの名前は無駄に使わないのですか？ 最後に「お～仏陀！」と言うのを聞いたのはいつですか？ ほら、ここは平等に冒涇をしましょうよ。なぜ、イエスの名を無駄に使うのでしょうか？ それは、イエスという名前は、私たち人間が救われるため与えられた、唯一の御名だからです。（使徒4：12 参照）

それが理由です。そして、興味深くないですか？「聖書預言・アップデート」で話しましたが、偽仏陀や偽モハメッドについては聞いたことがなく、偽キリストだけです。なぜか？ なぜなら、偽物が本物を認証・検証するからです。だから70ドル札の偽札は見ないのです。本物の70ドル札が存在しないから。では、なぜ偽キリストが存在するのか？キリストが本物だからです。サタンは偽造の達人です。そう、彼らはまさにイエスの御名を冒涇する人たちであり、弱い者や脆弱な者、最も小さい者や最後の者を利用します。「申命記10章17節」

## 申命記 10

**17 あなたがたの神、主は神の神、主の主、偉大で力があり、恐ろしい神。えこひいきをせず、賄賂を取らず、**

う～～お～ちょっと待ってください。今、分かってきました。そういうことなんですね。信じた方がいいです。皆さん信じた方がいいです。なぜ神は、このような聖句を聖典ページに記す必要があるレベルだとお考えになったのでしょうか。神が偏ったお方ではないことを伝えるため。なるほど、それはわかりませんが、賄賂は受け取らない？ まあ、それはありますか？ ーはいそうです。

「お～あなた様、建築資金は私が預かりますよ。」

ある話を思い出します。随分話してなかったと思います。話していたなら、ごめんなさい。皆さん勘弁してください。ある牧師に、弟を亡くしたばかりの男性が近づいてきます。そして彼は言います。

「あなたに追悼式をして欲しい。でも私の弟が聖人だったと言って貰いたい。言ってくれば、私が面倒を見ましょう。あなたの建築費用を払います。」牧師はこんな風です。「本当に？」なぜなら、この男性は非常に裕福で、非常に腐敗していました。今、彼はこの非常に腐敗した男の追悼式で、彼は聖人だったと言うよう求められ、彼はそれに同意しました。おっと、牧師はどうするのでしょうか？ さて、いよいよ追悼式の日。牧師が立ち上がると、兄はすぐそばに座って、見守っています。「OK。俺の弟が聖人だと言うんだぞ。」彼は最も邪悪で、最も腐敗し、悪人で、嘘つきで、詐欺師でした。「でも、あなたには彼が聖人だったと言って貰いたい。」それで、牧師はこう言うのです。「この人は、腐敗していました。そうです。今まで何度か追悼式をしてきました。そんなこと、誰にも言ったことないし、これからも言うことはない

でしょうね。神に感謝します。しかし、ええ、彼は腐敗していました。彼のすべてのビジネス取引は、袖の下で非常に腐敗していました。彼は詐欺師で、大変不誠実で、腐敗していて、邪悪で、悪人でした。兄はこんな（仰天顔で）見えています。－(笑)－ そして、こう言います。「しかし彼の兄に比べれば、この人は聖人です！」－爆笑－ 本文とは全く関係ありません。でも、我慢できなかったんです。－(笑)－ でも、まじめな話、あの世界ではそういうものなんですよ。あなたが私の背中を搔いてくれるなら、私もあなたの背中を搔こう。ですから、そういう人にご機嫌を取るのです。取り立てると返ってくるから。申し訳ないのですが、私の頭の中に、こんな絵が浮かびます。恐ろしい話、大変昔の話ですが、あの映画「ゴッドファーザー」です。彼がそこに座っています。名前は忘れましたが、彼はそこに座って、「娘の結婚式の日、私のところに来なさい。」彼は自分のために何かしてくれたので、今度は自分がお返しをしようと、呼ぶのです。実際、かなり上手いでしょ？ ティッシュを口に入れなくても良かったんですからね。－(笑)－ これが「箴言」です。「箴言 19 章」2つの節です。4節から、

#### 箴言 19

#### 4 財産は多くの友を増し加え、貧しい者はその友からも引き離される。

そういうものなのですか？ そういうものだと思ったほうがいいです。「箴言 19 章 6 節」はどうでしょう。

#### 箴言 19

#### 6 高貴な人の好意を求める者は多い。だれもが、贈り物をしてくれる人の友となる。

お～私たちは名指しで迫ります。「あ～私たちはこんなに親しいんだ。私は誰それを知っているよ。」わあ、そうなんですか？ わお～別の話ですが、神はこの数年、私の人生で、“有名人の知り合いがいることをほのめかす”ということについて、働きかけをしてくださっています。私は高い地位にいる人を知っています。本当に高い地位にね。「お～あなたは誰それを知ってるんですか？ かっこいい！」私の知っているのは誰だと思いませんか？「まあ、それあなたのお父さん？ うわ～、感動です。」私の御父のことを教えてあげましょう。父は天と地と海とそこにあるすべてのものの創造主です。どうですか？ はははは。－(笑)－ 一拍手喝采－ OK。気分が良くなりました。3つ目に進み、締めくくります。

8節から9節にあります。再度これは、これに対処する方法とセットになっています。聖霊がどういう方法で聖なる御言葉をどう行われるのか。これが、私たちが差別したり、えこひいきしたり、偏愛したりする3つ目の理由です。

「他人よりも自己を愛する。」からです。

さあ、考えてみてください。そして、どうか、、、思い出したのですが、これは何年も前の本土での話、遠い遠い昔、遠い遠い所。人々は言います。「私が人を愛することが難しいのは、自分自身を愛していないからです。」は～???? からかっているんですか？ 自分を愛してない？ いいえ、違います。あなたは自分自身に釘付けですよ。あなたは自分を愛していないとでも？ いいえ、自分を愛しています！ あなたが一番大切に思っている人は誰か？ あなたです！ これは.....時代遅れなのはわかっています。でも、実際に写真を現像していた時を思い出してください。若い方、昔は、写真を現像していたんですよ。今、復活してきているんですよ。知ってます？ 今持っているもので我慢してください。復活しますから。願わくば、主が戻って来られる前に…でも必ず復活します。そう、あなたは行って待っていました。

「1時間、写真仕上げ」写真の仕上がりが楽しみで仕方なかったんですね。で、写真が完成。お～！ 支払い中に、目を通します。誰を探してるんですか？ あなたです。－(笑)－ 頼みますよそして今でも、そう、現代の方法でなら、私たちの機器/デバイスです。写真を撮ると、「いや、もう一度」「いや、なん

で？ 私は良く写ってるのに。」「私は良く写ってないから！」（そして、自分の写りを見る）－(笑)－  
でしょ？ お～いやいや、私たちは自分を愛しすぎています。私たちの大好きな話題です。2人が会話しているとき、あなたは自分自身について話し、あなたの好きな話題、穢れた三位一体。「私を、私自身、私が」あ～それが分かるのは、、、「I（私が）」を何度口にしてしているかメモしてみてください。「I（私が）」  
「I（私が）」「I（私が）」...私たちが歌う賛美歌、「あなたが全てです。 イエス様～」嘘つき。－(笑)－  
マジで、冗談でしょ？ 自分が全てなのです。本当に罪を示されたので、ここで先に進みます。では、なぜ聖霊に導かれたヤコブは、律法を総括する大なる戒め「隣人を自分自身のように愛せよ」を持ち出したのでしょうか。なぜ、それを持ち出すのでしょうか。理由を説明します。彼らがそれを口実に金持ちを優遇していたからです。「お～、私は、金持ちの隣人を自分自身のように愛しているだけ。」と。お～本当に？ あなたは、、最近よく耳にするのは、そういうことではないですか？「隣人を愛せよ。」ふむ。。  
そう、彼らはそれを利用して...自分たちのしていることを正当化するため、それを誤用していると言った方がいかもしれませんね。そして、彼らがしている事は、自己愛からそういう行動していたのです。自分への愛が強いから。もし私が、、私はいつもこの描写に苦労しますが、記憶が間違っていなければ「マタイの福音書」18章15節から17節、イエスが教会内の問題に対処するための概略を実際示しておられます。教会規律と呼ばれ、言及されています。まず、その人のところへ一対一で行く。それで解決しない場合は、2人以上の証人を連れて行く。そして、それでも相手が受け入れない、あるいは受け入れようとしないなら、教会の指導者のところへ連れて行く。そして、それで受け入れないのであれば、異教徒や徴税人、国税庁に雇われている人と同様に、扱う必要があります。国税庁にお勤めの方、特にこの時期、イエスの御名において、あなたを愛します。しかし彼らを不信心者のように扱い、彼らを排除し、何の関係も持たないようにするのです。ではそれって、、愛はどこにあるのですか？ いいえ、それが愛です。  
コリント教会では、彼らは自分たちのことをとても誇りに思っていました。彼らは言っていました。

「ここは、こんなに愛に溢れた教会だ。私たちは誰でも受け入れる～」あ、失礼ですが、それは愛ではありません。お～あなた方は、愛しているつもりなんですか？ 違う。それは自己愛です。あなたがたの教会には、義理の母親と（失礼）セックスしている男がいるんですよ。あなた方は「そう、私たちは愛情を注ぎ誰にもただ受け入れる」という旗印を掲げています。違う。それは自己愛です。あなたが自分と向き合わないのは、自分を愛しすぎているからです。自分を愛するように相手愛するならば、相手ときちんと向き合っただけで、相手愛し（甘やか）してはなりません。パウロは言います。「そんな愛ではない。こっちが愛だ。」ちなみに、有名な愛の章、「第一コリント人への手紙13章」表現されているのわかりますか？「何が愛ではなく、何が愛なのか。あなた方は、これが愛だと思うのですか？それは愛ではない。これが愛です。事実、これが愛の仕組みで、愛の姿です。その男を教会から追い払い、サタンに引き渡せば、彼の肉が壊されます。」(Iコリント 5:5参照)

「お～ここは愛のある教会ではない！」「教会から追い出さなさい。教会から追い出すのです。肉を砕くため、彼をサタンに渡さなさい。あなたが彼を愛しているならそうしなさい。彼が正気に戻って悔い改め、回復するかもしれないからです。」そして、まさにその通りになったのです。それが愛です。第二の手紙、実は、このコリント人への手紙、私たちは皆、彼らと同じように、まったく同じことをする性質があるので、あまり厳しく言うことはできません。彼らは反対の極端な方向へ行きます。彼らは初め、「私たちは愛と受容に満ちている～」その男がサタンに引き渡され、教会を追い出され、肉を壊され、正気に戻り、悔い改め、回復を望みます。すると彼らは、「ダメだ！」待ってくださいよ。なぜそうなるの？

違う。彼を回復させなさい。彼を許しなさい。彼は悔い改めたのです。彼を愛しなさい。彼は愛される必要があります。(II コリント 2:7 参照)

あなたがた、それが愛です！ 自己愛とは、友情を壊すことはしない。相手に好かれたいから、友情を危険にさらさない。そんなことをしたら、友達解除されブロックされるから、投稿しない。それが自己愛です。いいえ、本当に自分を愛するように相手を愛するなら、今しているようなことではなく、こうするはずです。本当に彼らの自己愛の露呈です。そして、それが自己愛を露わにしていたのは、自分が好意を寄せているこの人たちに、見返りに自分を愛してほしいと願っていたからです。「マタイの福音書 22 章」に注目してください。34 節から読み始めたいと思います。

## マタイ 22

34 パリサイ人たちはイエスがサドカイ人たちを黙らせたと聞いて、一緒に集まった。

35/36 そして彼らのうちの一人、律法の専門家がイエスを試そうとして尋ねた。『先生、律法の中の戒めが一番重要ですか。』

(お～、してやったり!!!)

37 イエスは彼に言われた。『あなたは心を尽くし、いのちを尽くし、知性を尽くして、あなたの神、主を愛しなさい。』

38 これが、重要な第一の戒めです。

39 『あなたの隣人を自分自身のように愛しなさい』という第二の戒めも、それと同じように重要です。

40 この二つの戒め(十字架の形)に律法と預言者の全体がかかっているのです。

お付き合いください。そんな風に神を愛すなら、最初の5つの戒めは、大丈夫です。私が隣人を”そ～んな感じで”(強調してみました)愛するなら、次の5つの戒めは大丈夫です。興味深いのは、復活祭の日曜礼拝で話したことで、十戒は十字架の描写です。あなたがたは...十字架の縦=最初の5つがないと、十字架の横=あとの5つをするのは無理です。つまり、最初の5つは、縦・垂直。心を尽くし、魂を尽くし、精神を尽くし、力を尽くし、体を尽くして神を愛すること。そして、次の5つの戒め、横・水平。隣人を自分自身のように愛しなさい。そう、私があなたを隣人として愛すなら、、指で差さすのには気をつけます。私が指で差すと「私を見ている。」と隠れる人がいますからね。だからこうします。(平等に指す)いいですか？ 私が既に自分を愛しているのと同様にあなたを愛すなら、私はあなたにむさぼったりしません。私はあなたから盗んだりしません。あなたを殺しません。ああ、この会話にイエスを持ち込んだ方がいいですね。もちろん、あなたを殺すつもりはない。でも、ちょっと待ってください、イエスはそのハードルを上げられましたよね？ 不倫と同じです。人の人格を攻撃したら、殺すのと同じです。兄弟に腹を立てるのは、心の中で殺人を犯しているのです。(マタイ 5:22 参照)

ちょっと待って。私が彼らを愛しているなら、すでに自分自身を愛しているように、私はそんなことはしません。そうです。そこがポイントです。律法を成就することになります。それが十戒というわけではありません。基本的にこれに尽きますね。愛情を込めて「第11の戒め=愛」と呼ぶ通り、神を愛し、隣人を愛することです。そして、そのように神を愛するなら、他の神を持つことはありません。何が言いたいのですか？ 自分自身を偶像にして、毎週末掃除したり、支払いしないでしょう。-(笑)-

私はそれを現代に適用させようとしているだけです。皆さん、今お話したように、もちろん主の御名を空しくするつもりはないでしょう。あなたはそんなことするつもりはありません。

なぜか？ なぜならあなたは、心を尽くし、魂を尽くし、思いを尽くし、神を愛するからです。そして、

あなたの隣人、あなたは自分を愛するのと同様に愛するので、彼らに敵対するつもりはないでしょう。そして、あなたは自分自身を本当に愛しています。皆さんそうだし、私もそうです。つまり、隣人を自分のように愛せば、それで私は良いのですか？ ーええ、そうです。最後に「ヨハネの福音書 13 章」34 節からご紹介します。

### ヨハネ 13

**34 わたしはあなたがたに新しい戒めを与えます。互いに愛し合いなさい。わたしがあなたがたを愛したように、(ここ覚えておいてください) あなたがたも互いに愛し合いなさい。**

**35 互いの間に愛があるなら、それによって、あなたがたがわたしの弟子であることを、すべての人が認めるようになります。**

OK。わお～！ 待ってください。つまり、私があるあなたの弟子であるかどうかのリトマス試験は、どれだけお互いを愛しているかということですか？ ーそうです。私の聖書の大きさではないのですか？ ー違います。教会に通う頻度ではないのですか？ ー違います。什一献金をして、祈り、教会に通い、酒もタバコも嘔みタバコもせず、女の子とデートしたりしないんでしょう？ (苦笑) 昔を思い出しますね。はい、そうではありません。それが分かる方法ではありません。あなたがたがわたしの弟子だと分かるのは、あなたがたが互いをどのように愛するかで判断されます。それが分かる方法です。では主よ、あなたが私を愛されたように、私も互いに愛し合わなければならないと仰いましたね？ ーはい。でも、ちょっとハードルが高いです。なぜなら、あなたは私をとて愛して下さっているからです。あなたは私を”好いて”下さっている。時に愛するよりも強いです。神が私を好きってこと？ ーそうです。愛して下さっているのはわかるけど...私を好きってこと？ ーそうです。そして、これが新しい戒めで、イエス様、あなたが私を愛して下さるように、私も互いに愛し合うのですか？ ーそうです。おっお～私は撃沈です。あなたがそれほど私を愛しておられて、私がそれほど人を愛せるかどうか分かりません。ーいいえ、出来ます。どうやってですか？ お～わたしがあなたに持っている愛、あなたに与える愛は、あなたが持つ愛、他人に与える愛になるのです。主がその愛の源です。これは全く別の説教になるかもしれません。今、その話に行くつもりはありません。心配しないでください。もう締めくくりますから。でも、これも赦しなのです。どうやってその人を赦せばいいのだろうか？ ああ、わたしがあなたに何を赦しましたか？ おお～！ あなたが、彼らがあなたにしたことを赦さないなら、、わたしは、あなたがした(悍ましい)ことを赦したのですよ。そうですか。私はどうやって赦せばいいのですか？ 神から受けた赦しで赦すのです。愛も同じです。

昔.....最後に、これだけ話しておきます。以前にもシェアしたことがありますが、最近ではないですように。私たち夫婦は、今年で結婚 33 年です。結婚当初、私は自分のことで精一杯で、自分を愛していて、とても敬虔で誇り高く、霊的なプライドも高かったのです。ある日、私は妻を見て言ったんです。私の声には、ある種のトーン、夫らしく、霊的なトーンがありました。彼女に言いました。

「ハニー、私は君を愛している。神だけがお与えになることのできる愛で。」ー(笑)ー 彼女が溶けてしまうと思いました。お～、熱いハグとキスしてくれて、

「お～ハニー、あなたが夫であることに私はとても祝福されているわ～。」いいえ、妻はそう言いませんでした。その逆だったのです。彼女は、こんな風に困惑した表情で私を見ていました。

「待って、何ですって？ あなたが言いたいのは、自分には十分な愛がないから、私が愛せないものだから、あなたが私を愛するには神が愛を与えてくれるしかないというの？」私はこんな感じです。

「どうしてそうなるんだ？ どうしたらそうなるの、女って。」－(笑)－ ふふふふ。

結婚式をするときはいつも「エペソ人への手紙5章」を参照します。使徒パウロは、夫に3度言います。

「妻を愛しなさい、妻を愛しなさい、妻を愛しなさい。」女性には1回。「夫を敬いなさい。」

待って。なんですか？ それは「妻を愛しなさい、妻を愛しなさい、妻を愛しなさい。」だけではありません。キリストが教会を愛され、教会ためにご自身を捧げられたように、あなたの妻を愛するのです。

OK。無理です。自分の体を愛するのと同じように、妻を愛しなさい。私はまだ自分の体に興味のない男性に会ったことがありません。鏡の前を通るたび、見入っています。－(笑)－そして3回目が、「すでに自分自身を愛しているように、妻を愛しなさい。」3回ですよ。そして女性にはたった1回。5つの言葉

だけ。「お、妻は夫を敬いなさい。」なんて不公平なんでしょう。しかし、ここがポイントです。夫が自分を "そんな風に" 好きなら、妻は夫を尊敬するようになります。それが神の、女性のご設計です。それほどまで彼女を愛するなら彼女は抵抗できないのです。神は彼女をそうお創りになされました。あの夫があ

の妻に「私を尊敬しろ！」と言うのを聞くことはないでしょう。なぜか？ 夫は妻を愛しているからです。こっちで妻は言います。「ハニー、もう一度読み返した方がいいわ。つまり、その前に3回書いてあるのよ。あなたの私への愛に比例して、私はあなたを尊敬するの。」「さあ、私を尊敬するんだ。妻よ。」「さあ、私を愛する必要があります。夫よ」「まずは私を敬う必要がある。」「いいえ、そう書いてありません。まず私を愛する必要がある、そうすれば私はあなたを敬います。」そういう仕組みです。

つまり、私が妻にそう言ったのは、実は神学的に正しかったのです。「私があなたに対して抱いている愛は、神から来たもの。」自分自身に愛がないわけではなく、それが愛の源です。神は私をととても愛して下さっていて、その愛ゆえに、神は愛であり、神に愛があるのではなく、神が愛なのです。それが神です。それが源です。だから、私は神の愛を受ける側になって、そこから、あなたを愛するのです。イエスが仰られたように、「わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合いなさい。」私が言いたいのは、既に最後に、と言ったのは分かっていますが、実際、最後にしなければなりませんから、カポノ、上がってきてください。お立ちください。これが最後です。

もし、あなたが誰かと辛い時を過ごしていて、それは私の妻が長年私に言うように、「愛しているけど、でも今は好きじゃない。」OK。あなたを責めてません。でも、もしかしたら、誰かと一緒にいるのが辛いかもしれません。あなたは彼らを愛するのに苦労していて許すのが難しいかもしれません。主の下へ戻られることを勧めます。主に、あなたに思い出させ、見せて下さり、必要なら、巨大な添付ファイルを、電子メールで送っていただきましょう。主があなたを揺るぎない愛で愛して下さったのを思い出すために。そうすると、別ファイルが要りますね。実際、別のドライブにする必要があります。その別のファイルは、主があなたを赦されたすべてのリストになるでしょうから。そして、自分がどれだけ赦されているか、どれだけ愛されているかに気づいたとき、その表現が愛と赦しです。それが主から来るのです。主がゆえに。お父様、感謝します。

主よ、私たちの罪の性質、人間の性質、アダムの性質について、これは本当に真実です。

主よ、感謝します。あなたは全てを変えて下さいました。そして、主よ、あなたの御言葉の中で、手の届かないとか、実行不可能な箇所を学ぶことがないのを感謝します。あなたが「こうしなさい」と仰り、命令されたなら、私たちが出来るようして下さるからです。あなたは私たちの不従順の当事者にはならないからです。ですから主よ、私たちは自分を愛するのと同じように、またあなたが私たちを愛して下さったように、人を愛する必要があります。主よ、それは実行可能です。主よ、私たちの内に、私たち

を通して、私たちのために、聖霊によって、それをなさってくださいますように。イエスの御名において祈ります。アーメン。

-----  
メッセージ by JD Farag 牧師カルバリーチャペルカネオヘ

<http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe 47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii

筆記 hukuinn7